



2004 ~ 2005 年度
R I テーマ

CELEBRATE ROTARY ロータリーを祝おう

国際ロータリー会長 グレン E. エステス・シニア (国籍・アメリカアラバマ州)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12 時 30 分
ところ トキ八別府店 7 F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	鳴海淳郎	理事	梅津ヤヨイ	役員	会長	森 宗明	S A A	梅津ヤヨイ
"	溝部 仁	"	木村きぬ系		副会長	後藤健介		
"	村津忠久	"	大島由美子		幹事	上妻 浩		
"	平野英壽				会計	岩尾昭治		

VOL . 17 - 9
2004 年 9 月 7 日

第 743 回 例会

会報委員長 近藤 賢司

点 鐘 12 : 30

R . S . 奉仕の理想

ゲスト 工藤 寛昭氏
(R I 第2720地区ガバナー)
杉本 邦弘氏
(R I 第2720地区大分第3分区ガバナー補佐)

出席報告

委員長 衛藤 秀子

本日 の 出 席	会 員 総 数	26 名
	出 席 者	18 名
	事前メイクアップ	2 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
欠 席 数	出 席 率	72 %
	出 席 率	82.61 %
前々 回 の 訂 正	事後メイクアップ	2 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
	8/24 修 正 出 席 率	100 %

連 続 4 回

通 算 677 回 100 %

・メイクアップ

事前 平野、土谷 (別府東)

事後 桜田、津末 (別府東)

欠席 衛藤、後藤(健)、桜田、溝部、大久保

ず成功に導けるものと思います。

私も別府クラブでも新世代プログラムとしてこの数年来、放課後児童クラブへの支援協力のため秋のレクリエーション大会・春の別府ロータリー杯ミニ運動会等にかかわってきました。

当初数十名の参加でしたが、昨年度はレクリエーション大会が 262 名・ミニ運動会では 338 名と我々の予想を超えた規模に発展いたしました。これらの活動を通じて子供たちの健全育成に少しでも役に立てばと願っています。また今週末

会長の時間 別府RC会長 末次 由和

本日は当、別府クラブのホストによります、ガバナー公式訪問ならびに 5 クラブ合同例会でございます。大型台風の来襲にもかかわらず、工藤ガバナーをはじめ多くのロータリアンの皆様にご参集いただき、心より感謝いたします。また、ガバナーには後ほど今年度のガバナーアドレスをお伺いいたします。よろしくお願い致します。

さて今月は「新世代のための月間」です。新世代プログラムは、今年度ガバナーの最重点項目であり、未来を託す青少年達に夢と希望が見出せるように活動しようと呼びかけられています。

まだ記憶に新しいアテネオリンピックでの日本チームの大活躍は国中を感動させ、自信と希望を与えてくれました。彼らの、というか彼女らの活躍は、簡単になしえたのではなく不振だった前回、前々回の反省に立って、若い世代からの選手の育成・スポーツ環境の整備・そして経済的支援が実を結んだといわれています。

新世代への育成はすぐには結果が出るものではありませんが一步一步地道に活動していけば、必

には2720地区中学生硬式野球大会が開催されま
すし、放課後児童クラブのハイキング大会も開か
れますので、新世代委員会を中心に多数参加し、
若い世代との交流と育成に努めたいと思います。

本日は早めにガバナーアドレスを始めたいと思
いますのでこれで会長の時間を終わります。

幹事報告 幹事 上妻 浩

新世代のための月間

...本日は、「工藤寛昭ガバナー公式訪問
5RC合同例会」を開催致します。...
11:20 ~ 会長・幹事懇談会(亀の井ホテル:3F)
12:30 ~ 公式訪問合同例会(亀の井ホテル:2F)

1. 本日の卓話

『ガバナーアドレス』

RI第2720地区ガバナー 工藤寛昭氏

2. 本日のゲスト

くどうひろあき
工藤寛昭氏

(RI第2720地区ガバナー)

すぎもとくにひろ
杉本邦弘氏

(RI第2720地区大分第3分区ガバナー補佐)

3. 『2005年国際ロータリー第96回年次大会』の
お知らせ

日 時 2005年6月18日~22日

場 所 米国イリノイ州・シカゴ

登 録 料	締 切 日	
	2004/12/31	2005/3/31
ロータリアン	US \$ 250	US \$ 275
ロータリアンと 配偶者	US \$ 400	US \$ 450
ローターアクター、 財団学友、財団奨 学生	US \$ 60	US \$ 80
インターアクター、 交換学生	US \$ 20	US \$ 30

詳細・登録ご希望の方は、幹事または事務
局までお申し出下さい。

4. RI第2720地区『職業奉仕セミナー』開催
のお知らせ

日 時 平成16年10月2日(土)

13:00~点鐘

14:00~特別講演

14:40~パネルディスカッション

場 所 亀の井ホテル

(別府市中央町5-7)

☎ 0977 (22) 3301)

特別講演 『別府の活性化について』
津末武久氏(別府商工会議所会頭)

出席担当者 会長、幹事、社会奉仕委員長、
新入会員

但し会場の都合により1クラ
ブ2~3名までと致します。

登録料 1クラブ:1,000円

ホスト 別府中央ロータリークラブ

詳細ご希望の方は、幹事また
は事務局までお申し出下さい。

5. 9月6日(月)12:30~竹の井ホテルに於
いて『別府市内4RC、日出RC会長・幹事会』
が開催され、森 宗明会長、上妻 浩幹事が
出席致しました。

6. 本日、11:20~亀の井ホテルに於いて「ガ
バナー公式訪問別府中央RC会長・幹事懇談
会」が開催されました。

出席者:工藤寛昭ガバナー、杉本邦弘ガバ
ナー補佐、森 宗明会長、上妻
浩幹事

7. 8月の例会にて「おぎゃー献金」の募金箱を
回覧しておりましたが、益金が8,110円とな
りました。ご協力ありがとうございました。

8. 例会変更のお知らせ

大分臨海RC 9月13日(月)の例会は、ガバナ
ー補佐を迎えてのクラブ協議会の
為 同日18:30~大分全日空ホテ
ルオアシスタワー 20階に時間変更

佐伯RC 9月15日(水)の例会は、ロータ
リー100周年・佐伯RC45周年
記念少年野球大会開会の為 9月
12日(日)8:00~濃霞グラウン
ドに日時・場所変更

大分南RC 9月17日(金)の例会は、新会員
歓迎会の為 同日18:00~香苑
に時間・場所変更

大分東RC 9月16日(木)の例会は、

大分中央RC 9月22日(水)の例会は、

大分臨海RC 9月27日(月)の例会は、

ガバナー公式訪問例会の為 9月
21日(火)12:30~トキ八会
館5階「ローズの間」に開催日・
場所変更

9. 次週の予定

「皮膚病の上手な治し方」 鳴海淳郎会員



10. 本日の回覧

「R I 第2720地区2004-2005年度地区大会」
(11月20・21日) 登録申込み

11. 本日の配布

「工藤寛昭ガバナー公式訪問5 R C 合同例会」
次第

卓 話

『ガバナーアドレス』

R第2720地区ガバナー 工藤寛昭氏

アナハイムでの国際協議会2日目の本会議場で、エステス R I 会長のテーマ “Celebrate Rotary、ロータリーを祝おう” が発表された時、私は呆然としました。どんなテーマだろうか、と期待に胸を弾ませていた私は、どのように解釈すれば良いのかと困惑しました。

昨年度の“手を貸そう”、一昨年度の“慈愛の種を播きましょう”は、具体的で直ぐにでも行動に移せるようなテーマでした。これに比べてエステス会長のテーマは、奉仕活動にどのように結びつけていけば良いのかと感じた方が多かったのではないかと思います。

しかしよく考えてみますと、ロータリー 100 年に相応しい、エステス会長の大らかな心の豊かさを象徴するものであり、とにかく先達の素晴らしい業績を称賛し、2世紀目への新しい第一歩を踏み出そうということだと合点いたしました。

続いてのエステス会長のテーマに関する講演では、今年度もロータリー家族を強調しておられました。そして何にもまして、私達のクラブで、職場で、地域社会で、そして世界で無数の奉仕の業を行うことによって、共にロータリーを祝おう、と結んでおられます。

この他アナハイムでのいろいろと勉強させられたことについては、特に強調することもなく、ロータリー財団のロータリー 100周年を記念する特別な方法として、またロータリー財団の活動が確実に継続されていくことを願って、100周年の2004-05年度年次プログラム基金目標を、1人あたり米貨100ドルに設定したということを盛んに言うておりました。もちろん既に100ドル以上の寄付をされている方は、それ以上をお願いしたいということ位でありました。

ここで私は2世紀目への第一歩を踏み出すにあたり、ロータリーとは何かということをごさ

と一緒に考えてみたいと思います。

ある文献を読んだ時に“ロータリーの本質は親睦の中から奉仕の理想を生み出す集団”と書かれてあったことで、これはロータリーそのものことであり、本質のことではないと思いました。これがきっかけでロータリーについて真剣に考えるようになったのです。

ではその本質とは何か。私はロータリーの綱領の奥に潜む要素がロータリーの本質であると仮定し、これを“ロータリーの心”と表現いたしました。“ロータリーの心”という言葉はよく耳にしますが、その心の実態について触れられたものは全くありません。

ロータリーの創始者であるポール・ハリスは2歳年上の兄と共に3歳から20歳までの間、敬虔なキリスト教信者であった祖父母に育てられたという生い立ちから、ポール的人格形成に大きな影響を与えたのは、祖父ハワード・ハリスであったと言われており、彼の心の中には、キリスト教の教えが信条として秘められていたであろうと考えられます。

一昨年西村年度地区大会の際に千宗室先生のご講演の中で、ポール・ハリスの信条として、慈愛・博愛・寛容・忍耐という4つの言葉を挙げておられました。これは新約聖書コロサイ人への書、第3章の1節にある言葉であります。そしてこれらの言葉こそロータリーの心であり、ロータリーの本質ではないかと考えました。

従って“ロータリーとはロータリーの綱領に沿って奉仕の理想を追究する集団”と言って良いのではないかと考えています。そこではたとえあぐねます言葉が奉仕の理想であります。それだけにこの言葉に関する文献は多々ありますが、その種明かしとしてポール・ハリス著、米山梅吉訳「ロータリーの理想と友愛」の中に奉仕の理想の意味という一節があります。その訳文をそのまま引用させていただきますと、

「奉仕の理想とは何を意味するか、“ロータリーの意義”の著者はこれに関して様々な言説を引用している。それぞれの言葉は異なるが、精神は一つである。エジプト人曰く“己の欲する善を他人の為に求めよ”、ペルシャ人曰く“汝施されんと欲する所を施せ”、仏陀曰く“人は己の為に欲する福善を他人の為に求むべきものなり”、孔子曰く“汝の欲せざる所を他人に施すなかれ”、モハメッド曰く“何人も己の好まざる如く同胞を遇す

べからず”、ローマ人曰く“自己を愛するが如く社会の全員を愛すべしとは、万人の心底に銘せらるる法則たるべし”、ヘブライ人曰く“何事にもあれ汝隣人の施すことを好まざる所を隣人に施すなかれ”、最後にナザレのイエス曰く“汝他人より与えられんと欲する全てを他人に与えよ”とあります。これこそは全人類に共通する倫理、奉仕の精神の真髄であると考えられます。ともかく奉仕の理想という言葉については、このような解説があります。結局行き着くところはイエスの黄金律ということでしょう。

先日、佐伯で公式訪問第一声を上げるにあたり、ふと思い出されましたのが7年前、西島年度のあの素晴らしい地区大会のことです。その中で私が忘れられないのは、「故向笠元R I会長を称え、これからのロータリーを考える」記念座談会で森三郎P G（寄居R C）のお話してあります。

私は“あなたはロータリアンですか、ロータリークラブの会員ですか”という話を聞いたことがあります。これは差別であり身分の終結ない限りロータリアンで良いと思っております。完全にロータリーに嵌った人、半分嵌った人、全く足跡も残さないような人がいる、これがロータリーであり、皆が嵌れば宗教であると卓話で話したことがありました。記念座談会の中でこのことを森P Gは知的な表現で語っておられましたことをそのまま引用させていただきます。

“山笑う杉山よりも雑木山”という俳句があります。つまり、杉山はいかにも美しい、育てて見事な材木になるけれども杉山はそれだけのものだ。春が巡ってきても喜びの声一つあげない。これに対して、うしろの城山でもそうであるが、雑木の山というのは様々に春の喜びを形で表して、中にはツタのように這うのもいるし、真っ直ぐに

立つのもいるし、喜びに満ちているではないか。であるから私はロータリーというのは、杉山のような存在であってはならない。出来るだけ雑木のような山であってほしいということとその時考え、それを中尾左助という京都大学の植物の先生に話しましたところ、ある群れが栄えるのは、出来るだけ変わり者がその中に含まれているのが良いのだ。粒が揃ってしまうとその群れは衰える。」ということでした。私もこの考えには全く同感です。

この他、会員増強の問題についてもお話したいと思ったのですが、月信2号に8月の会員増強月間について記述いたしましたので削除いたしました。

最後にアナハイムの本会議場でジョナサン・マジアベ前R I会長の歓迎の辞が述べられました。その中で特に私が興味を持ったのは、イギリスのある起業家の言葉を引用した一節でありました。

ボスは部下をこき使い、リーダーは指導する。
ボスは権威に、リーダーは善意に依存する。
ボスは恐れを抱かせ、リーダーは情熱を抱かせる。
ボスの主語は「私」、リーダーの主語は「私達」。
ボスは故障を誰かのせいにし、リーダーは故障を修理する。

ボスは「行け」と言い、リーダーは「行こう」と言う。

一週間のリーダーシップ研修を始める私達に、ボスは要らないリーダーが欲しいのだと強く戒める言葉だと思いました。

今年度は過重なスケジュールを組んでおりますので、関係者の方々にはよろしくご協力をお願いいたします。

